

地域医療連携ニュース

2020年4月発行

泌尿器科からのご案内

泌尿器科 常勤医師着任のご挨拶



かわしま きよたか
医師名 **川島 清隆**

■山形大学 昭和60年卒

■専門医・所属学会

日本泌尿器科学会（専門医、指導医）
日本癌治療学会
日本ミニマム創泌尿器
内視鏡外科学会（施設認定医）
日本泌尿器腫瘍学会
日本整形内科学研究会
日本結合組織学会
米国泌尿器科学会（AUA）
EAU

■PROFIEL

平成5年 足利赤十字病院
平成10年 国立がんセンター東病院
平成14年 国立がんセンター中央病院
平成15年 栃木県立がんセンター

4月から熊谷総合病院に勤務致します泌尿器科の川島清隆と申します。私は国立がんセンター東病院、国立がん研究センター中央病院、栃木県立がんセンターで20年間、泌尿器科癌の診療にあたってきました。特に前立腺癌を専門としてきました。手術は現在ロボット手術が普及していますが、根治性に関しては開腹手術を凌駕するものでは無いことは世界的なコンセンサスになっています。私は根治性の向上と真の低侵襲性を目指し、ミクロからマクロまで解剖を再検証し、開腹手術やミニマム創手術を通して術式の改良、手術精度の向上に努めてきました。その結果良好な根治性と低侵襲性を得ています。熊谷総合病院でも、高品位な手術（開腹手術）を提供したいと思っています。前立腺癌は治療選択肢が豊富で患者さんはその選択には悩むことが多いかと思えます。正確な診断を行い、全ての選択肢について十分説明し、ご自身の希望にあった治療法を選んでいただけるよう、引き続き努力したいと思っています。熊谷総合病院にはトモセラピーという最新の放射線治療装置があります。高品位な放射線治療、手術の他監視療法などを通して、質の高い前立腺癌診療を提供できると考えています。

もちろん、泌尿器科疾患全般の診療を行いたい所ですが、残念ながら現状は一人常勤体制です。まずは前立腺癌診療の充実に努めたいと思います。どうかご理解のほど、宜しく願います。